

湖山池流入河川及び中海流入河川の水質調査結果について

【水質調査第二科】

1 湖山池流入河川

平成6年からの各河川における水質を図1に示した。水質変化をみるとCOD、BODについては全ての地点において減少傾向あるいは横ばい状態に推移していた。特に枝川の水質が良くなっていた。窒素、磷についても同様の傾向が見られた。このことは湖山池周辺において、近年、下水処理

場や農業集落排水処理施設等の設備が整備されてきていることに起因しているものと推測される。これらの水質変化をみると、湖山池流入河川の水質は、今後大幅に悪化する恐れは少ないと考えられる。また、湖山川（中和橋）の水質はほぼ横ばいに推移していた。

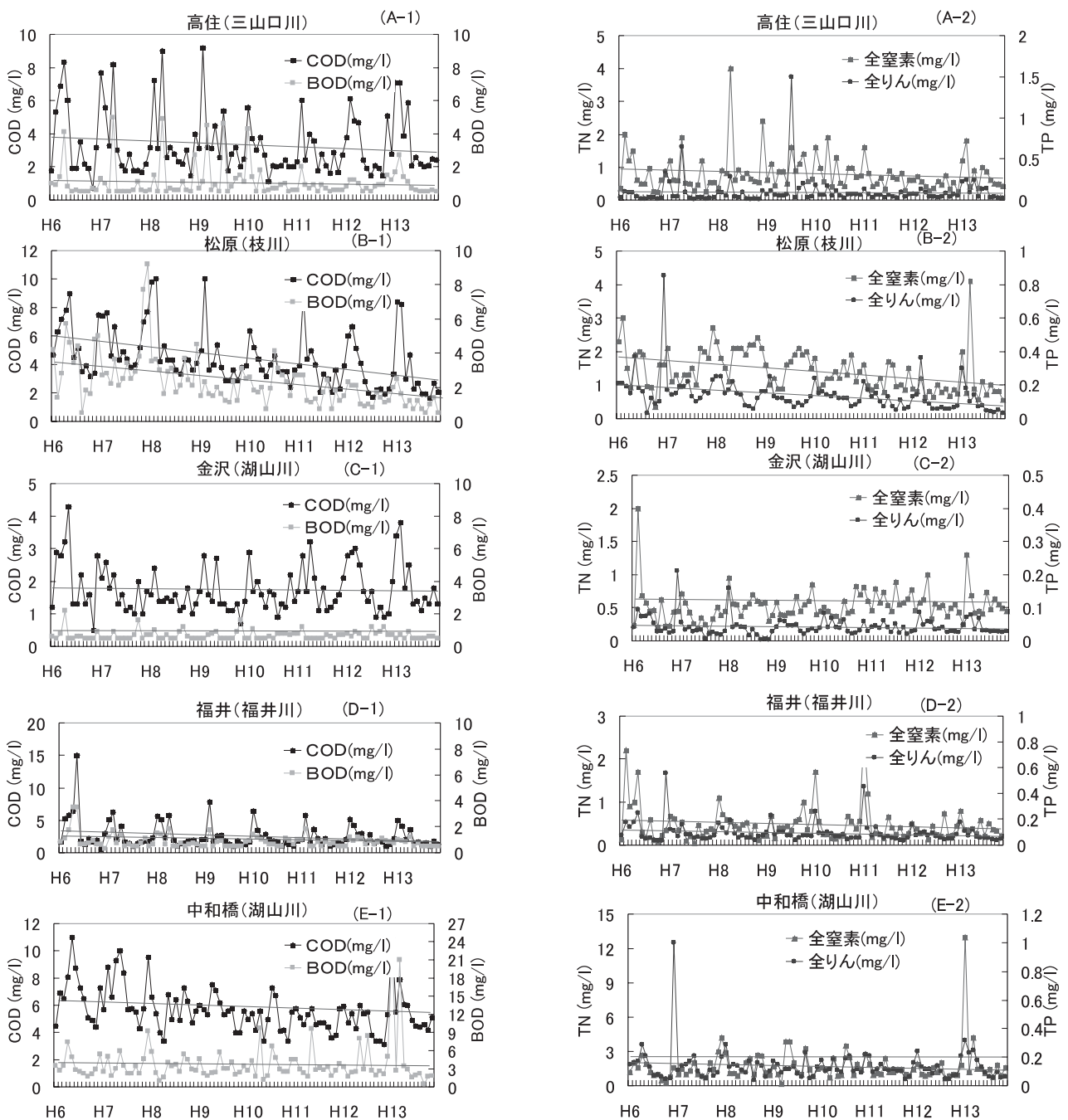


図1 湖山池流入河川の水質経年変化

2 中海流入河川

平成6年から各河川における水質を図2に示した。水質変化をみるとCOD、BODは全ての地点において減少傾向あるいは横ばい状態に推移していた。

特に大沢川、直川分水ではかなり減少しており、ここ数年で水質が改善されていることがわかった。

窒素、磷についても同様の傾向が見られた。これも同様に生活排水処理対策がなされ、下水処理場等の設備が整備されてきていることに起因しているものと推測される。この水質変化の推移を見ると、今後、中海流入河川の水質が大幅に悪化する恐れは少ないと考えられる。

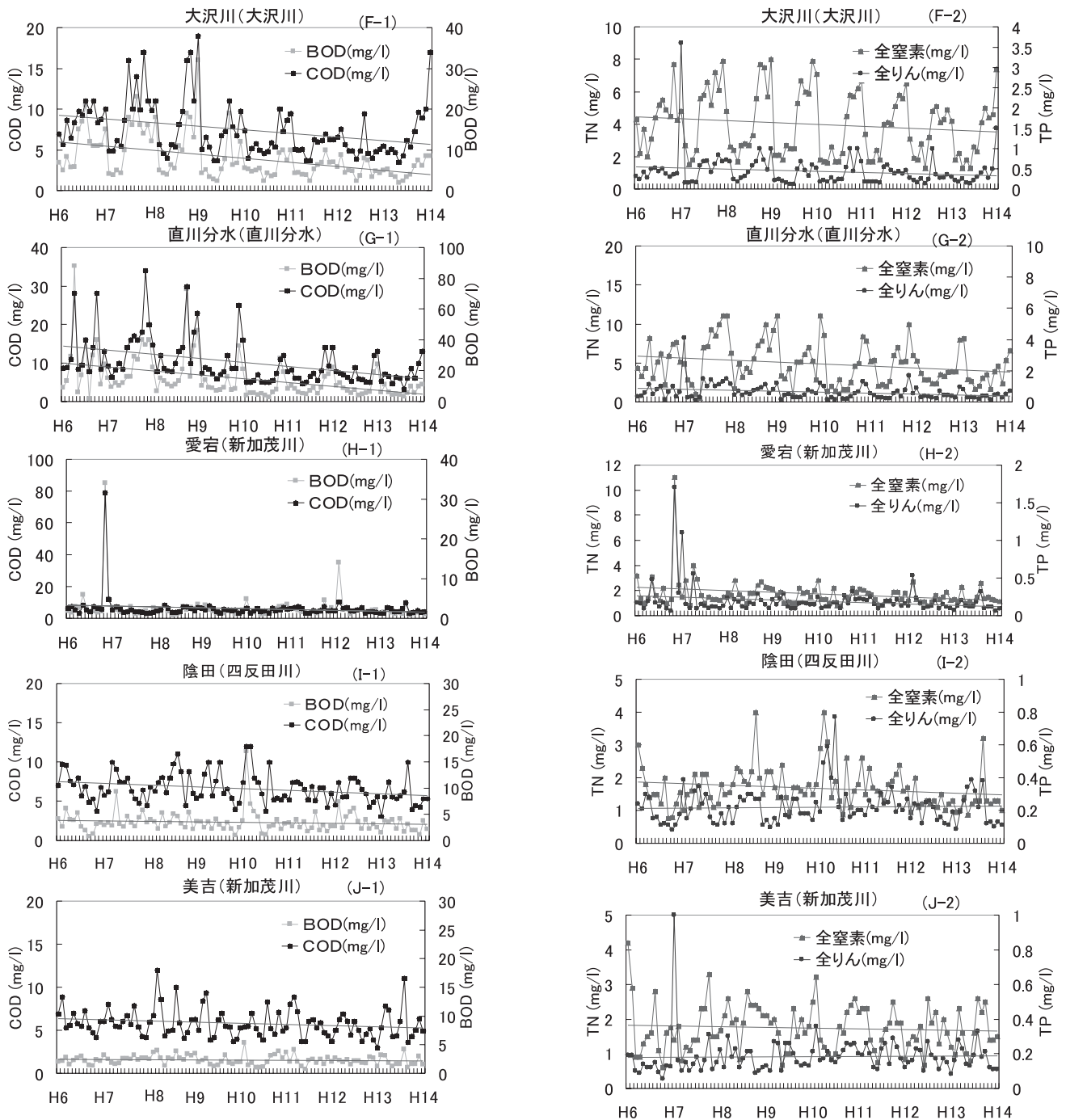


図2 中海流入河川の水質経年変化